



編集・発行  
熊日湯前・水上販売センター  
(代)小出堅太郎 小出忠紹  
石田敏郎 尾前竜二 湯山高志  
球磨郡湯前町中里1830  
TEL 43-2151  
FAX 49-1726  
http://www.taragi.com/

英会話に意気込む子どもたち

英会話教室



10月6日(木)に、湯前町農村環境改善センターで行われている「英会話教室」にお邪魔しました。この教室は、毎週木曜日、夜7時から行われており、講師であるメリッサ・リード先生、アシスタントの笠野広美さんの指導の下、現在8名の生徒さんが活動されています。小学校高学年の児童を対象とした教室で、

色々なゲームで英語を楽しむ内容でした。リード先生は、「子ども達に英語を教えたくて来ました。日本や湯前町の文化に触れたいですね。湯前小の子ども達はゲームが終わっても元気でパワフルです」と楽しんでいました。学級長の土屋健四郎君は、「頑張っていることは、早く英語を覚えることです。先生がまだ日本語に慣れていないので、英語で日本語を教えたいです」と先生思いの頼もしい様子でした。生徒のみんなは「I will speak English fluently. (英語をすらすらと話すようになりたいです)」とこれからの学習に意気込んでいました。色んな世界の人たちとも友達になれるような湯前小の子ども達に、期待しています。

子どもから高齢者まで、日頃の練習の成果を披露

「第33回雲井流(雲井扇司文)東日本大震災チャリティーショー・秋のおどり」が10月23日に湯前町農村環境改善センターで行われ、鶴田町長や緒方県議他、多くの来賓を迎え、約250人の観客で賑いました。開会の挨拶で雲井扇司文(那須文子)師範より、「昭和53年に第1回を開催してから33回目の発表会を迎え、社中一同それぞれ33歳の歳を重ねております。若い頃の元気な舞いはできませんが、精一杯頑張ります」と挨拶されました。那須さんは、これまで町内はもとより、県内に約1000人以上の生徒さんに教えてこられたそうです。しかし中には亡くなられた方もおられて寂しそうですが、先生はまだまだ元気で、厳しい指導をされているようでした。開演からプログラムの40番まで一人の途中退席者もなく、最後まで賑っていました。尚、那須さんより鶴田町長に、東日本大震災に対しての義援金が送られました。



多良木警察署だより

「ひのくにピカピカ運動」実施中

☆ 平成23年10月15日(土)～平成24年2月29日(水) ☆

例年、秋から冬にかけては日没が早まり、夕暮れから夜間にかけての交通事故が多発する傾向にあります。また、霧による交通事故も数件発生しております。つぎのことを守り交通事故を防止しましょう。

☆ 反射材の活用 ☆

- 夜間に外出するときは、反射材を活用するとともに、明るい服装に心掛け、ドライバーから目立つようにしましょう。



☆ 前照灯の早め点灯と上向き点灯 ☆

- 夕暮れ時には、意識して前照灯を早めに点灯し、自分の車の存在を周囲に知らせましょう。
- 対向車や前を走る車がないときは、前照灯を上向きで点灯し、歩行者の早期発見に努めましょう。(原稿提供：多良木警察署)



和気合い合いの「和楽路の会」



多良木・水上・湯前の手工芸職人仲間が集う奥球磨マイスターの会。その中に「和楽路の会(会長：椎葉茂さん)」という、草鞋・草履・足中を作る部会があります。

毎週日曜日の18時～20時まで、湯前町のふれあい交流センター湯～とぴあ工作室にて活動されています。

す。そもそも草鞋づくりなどを伝承するのが第一目的に、約5年前に発足。30名以上の大所帯だったこともあるそうですが、現在は8名で和気合い合いと取り組まれています。草鞋を一足作り上げるのに、慣れてくれば1時間位で出来るようになるそうです。「興味のある方は、いつでも来てください」と椎葉さん。

お知らせ

奥球磨マイスターの会主催『第1回手仕事展』開催  
日時：11月23日(水) 9時～16時  
場所：湯前町 湯～とぴあ(湯前駅となり)  
連絡先・電話：43-3068  
正月用の縄飾り、ガラス工芸など10ブースが予定。展示・即売会のほか、体験コーナーも設けてあります。盛り沢山の内容になっています。是非お立ち寄り下さい。